

うまがんべ 2019

No.111

- 渡部農園農事通信 -

8

今月の写真たち 2019



在りし日の祖母。元気に散歩。



現在行方不明中のつな。

7月20日(土)19時56分。入院中でもコココーラを美味しそうに飲んでいた祖母ヨシが永眠しました。大正11年9月24日生まれでしたので9月で97歳。享年98歳になるのでしょうか。最後まで元気な祖母でした。

祖母の思い出はたくさんあります。小学生の頃、学校から帰ってくるとニラの出荷箱を作るように言われたこと、草むしりを一日中している後ろ姿、りんごの摘果をするモンペ姿。和裁も得意で半纏を作ってくれたり、孫たちの浴衣を作ってくれたり。長女が生まれた時には一日中抱っこしていてくれました。

彼女を一言で言い表すならば、『忍耐』になるでしょう。『我慢強い』かもしれません。18歳で渡部家に嫁ぎますが、結婚直後、旦那である竹一郎(以後祖父)は戦地に赴き、6年もの間じっと、そしてずっと祖父の帰りを待ち続けました。慣れない農家の仕事、家事、小姑。たくさんの困難を乗り越えて来た彼女を支えたものは何だったのでしょうか?今では知る由もありませんが、彼女が「フーッ」と一息ついたのを見たことはありません。黙々と、そして淡々と何かをしていました。

最後に自宅へ戻って来てからも、じっと、そしてずっと眠り続けていました。時折、食事の知らせで目を覚ましますが、それ以外は目を閉じていました。苦しいこともあったのですが、『我慢強く』していました。

彼女のおかげで気づいたことがあります。それは、彼女の血が私にも、私の子どもたちにも流れていることです。彼女の『忍耐』『我慢強さ』が私たちの体にも存在しているのです。それはとてつもなく心強い。これから待ち受けるであろう様々な困難にも『我慢強く』立ち向かえる素質があるのです。大正、昭和、平成、令和と4つの時代を、『我慢強く』生き抜いて来た彼女の魂が私たちにもあるのです。

今年も天候不順ですが、彼女のおかげで乗り越えられそうです。『人生、生きてりゃ、なんとかなる。』映画「もののけ姫」でそう力強く言っていたおトキさんが、若い頃の祖母と重なります。(とか)

閑話休題

甥っ子2人が夏休みを利用して遊びに来てくれました。ゲームっ子のはずなのに、川で遊びたいとのことだったので、2人を連れて久しぶりに川に行ってきました。生憎大雨の次の日だったので川の水が少し濁っており、びっくりするほどの冷たさでしたが、楽しそうに2時間ほど遊んでいました(もちろん私は川には入らず眺めていました)。午後も行きたいとのことでしたが、雷雨により断念。でもゲームっ子でも、小さい頃に遊んだ川で遊びたいと思ってくれることが嬉しかったです。三つ子の魂百までと言われますが、幼い頃の体験って心に残っているんですね。

今月の名言

「諦めるな。過去の人間が考えついたことを、若い君たちが理解できないなんてことはない。一度諦めたら、諦め癖がつく。」
東野圭吾 『禁断の魔術』

ディスクヴィレッジ 渡部農園×クラブジュニア東北営業所

〒969-5344 福島県南会津郡下郷町大字沢田字宅地続甲25

電話とFAX;0241-67-2786 メール;info@disc-village.com

www.disc-village.com

Facebookページはディスクヴィレッジで検索ください。

渡部貴人(とか) 携帯090-5230-5804 @LINE ID;discvillagetoka

